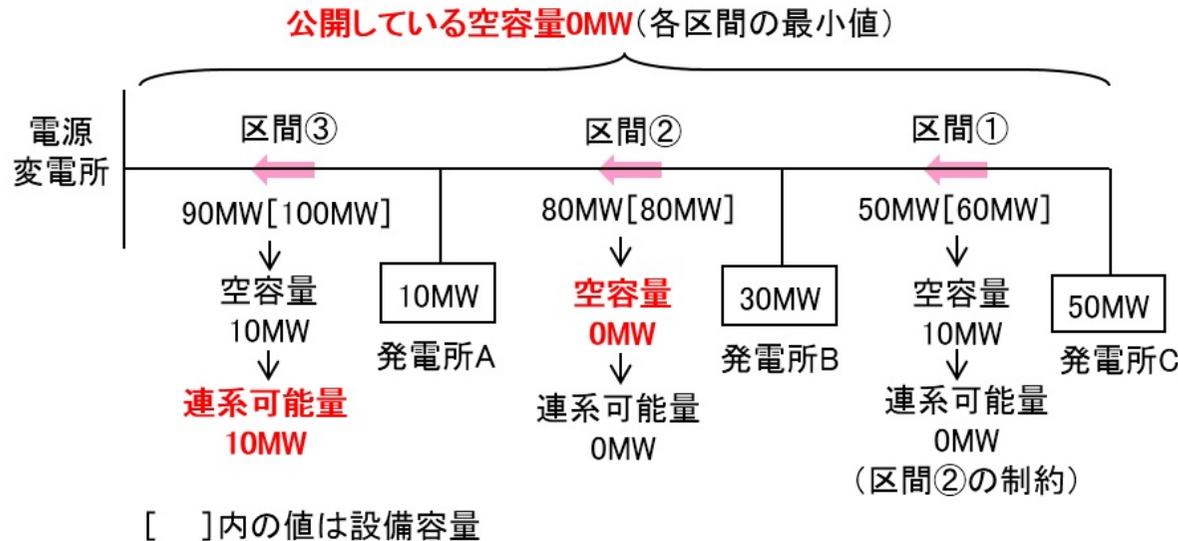


空容量マッピング利用上の留意点

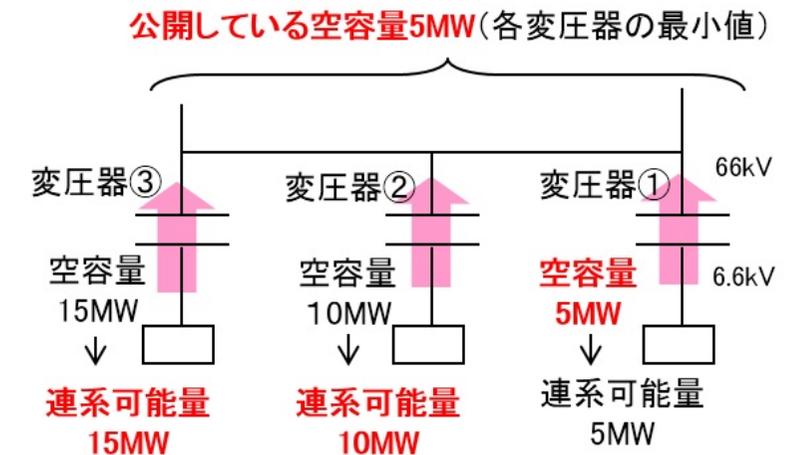
- 本資料は 2025年6月20日 時点における系統状況から作成しております。
- 空容量は目安※であるため、系統連系の前には、接続検討(要申込み)による詳細検討が必要となります。
- 原則として熱容量に基づく空容量を記載しておりますので、その他の要因(電圧や系統安定度など)により系統連系制約が生じる場合があります。
- 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、受電電力が空容量の範囲内であっても、過去の増強工事費の一部を遡ってご負担いただく場合があります。
- 公表することにより、テロ等による社会的な大きな影響を受けることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報は公開しておりません。
- 個別の電力供給契約が特定可能な第三者情報は公開しておりません。

※公開している空容量と連系可能量が異なる例

例1) 送電線



例2) 配電用変電所



・送電線の場合は連系可能量0MWであっても、系統混雑時において発電設備等を出力制御していただくことを前提としたノンファーム型接続により、系統に連系が可能となります。

154kV, 66kV, 22kV系統空容量マッピングの記載方法について

○既にお申し込みを頂いている発電設備の連系状況を踏まえ、以下の凡例で系統の空容量を示しております。

※空容量の数値[MW]については、別紙「空容量一覧表」を参照願います。

— 平常時出力制御 *1 が発生する可能性のある系統 *2

平常時出力制御が発生する可能性については、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定しております。

* https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryuu.html

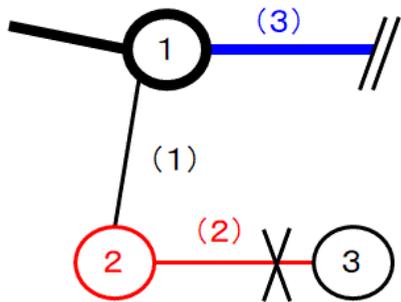
— 空き容量が無く、N-1電制が適用不可能であり、今後新規電源の申込によって平常時出力制御が発生する可能性のある系統 *3

— 平常時出力制御が発生する可能性が当面低い系統

*1 系統容量の制約による出力制御

*2 ノンファーム型接続が必要になる系統であっても、別途N-1電制が必要となる場合がある

*3 電源接続案件一括検討プロセスを実施中の系統、増強工事中の系統等を含む



①, ②, ③ : 変電所の設備番号

(1), (2), (3) : 送・配電線の設備番号

○「154kV, 66kV, 22kV系統空容量マッピング」は

特別高圧にて連系予定発電設備を対象としております。

空容量マッピング	対象発電設備
154kV	50,000kW以上にて連系予定の発電設備
66kV	10,000kW以上, 50,000kW未満にて連系予定の発電設備
22kV	2,000kW以上, 10,000kW未満にて連系予定の発電設備

【凡例: 154kVマップ】

変電所	154kV	○
開閉所	154kV	⊗
周波数変換設備		⬡
交直変換設備		⬢
送電線	154kV	—
発電所	154kV	□

【凡例: 66kVマップ】

変電所	○
送電線	—
常時開放箇所	// ×

【凡例: 22kVマップ】

変電所	○
配電線	—

- ・セキュリティ等の理由により、系統の一部を記載していない都県がございます。
- ・破線で示した送電線・変電所は他社設備です。

資料作成日 2025年7月3日

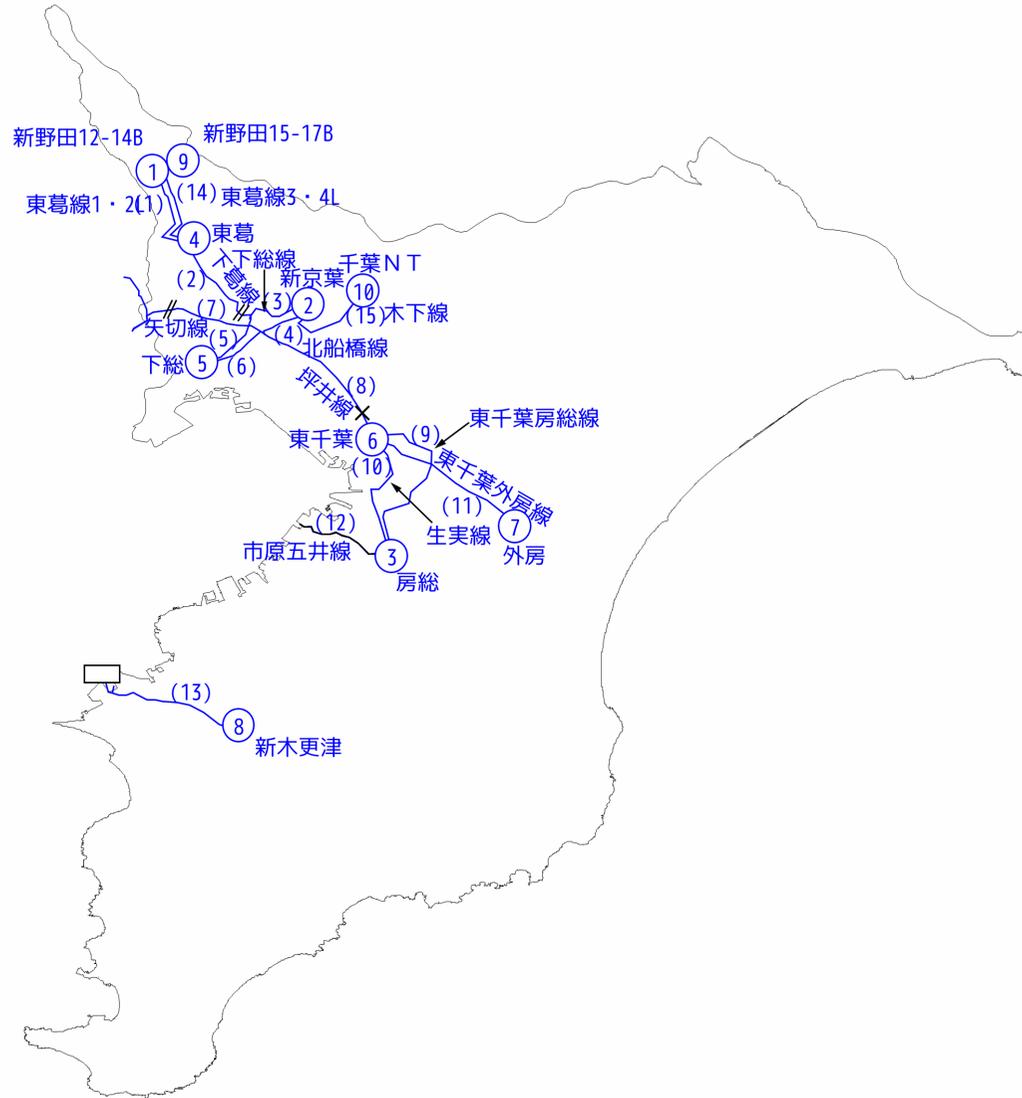
転載禁止 東京電力パワーグリッド株式会社

送電線運用容量一覧表の留意事項について

- (1) 空容量と平常時出力制御の可能性は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量と平常時出力制御の可能性が変更となる場合があります。
- (2) 原則として熱容量に基づく空容量と平常時出力制御の可能性を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (3) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。なお、N-1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N-1電制適用可能性ありでも設置されるとは限りません。また、適用不可の場合の理由は以下の通りです。
 - #1 基幹系ループ系統のため
 - #2 1回線送電線のため
 - #3 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
- (4) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。
- (5) 平常時出力制御の可能性がある設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
 - * https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryuu.html
- (6) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (7) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (8) 送電線名に発電所名、需要者名等が含まれている場合には、送電線名を「送電線」としております。
- (9) 電力広域的運営推進機関から示された「想定潮流の合理化」については、順次詳細検討の結果を反映させて参ります。
- (10) 平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kW未満の電源を除く。)
- (11) 予想潮流については「需要・送配電に関する情報」をご覧ください。なお、2023年度末から順次公開範囲を拡大する予定です。
- (12) 既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。
 - ※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～*」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。
 - * <https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm>

変電所運用容量一覧表の留意事項について

- (1) 空容量と平常時出力制御の可能性は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量と平常時出力制御の可能性が変更となる場合があります。
- (2) 原則として熱容量に基づく空容量と平常時出力制御の可能性を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (3) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。なお、N-1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N-1電制適用可能性ありでも設置されるとは限りません。また、適用不可の場合の理由は以下の通りです。
 - #1 基幹系ループ系統のため
 - #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
 - #3 配電用変電所のため
 - #4 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
- (4) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (5) 平常時出力制御の可能性のある設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
* https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryoku.html
- (6) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (7) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (8) 電力広域的運営推進機関から示された「想定潮流の合理化」については、順次詳細検討の結果を反映させて参ります。
- (9) 平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kW未満の電源を除く。)
- (10) 予想潮流については「需要・送配電に関する情報」をご覧ください。なお、2023年度末から順次公開範囲を拡大する予定です。
- (11) 既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。
※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～*」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。
* <https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm>



千葉県

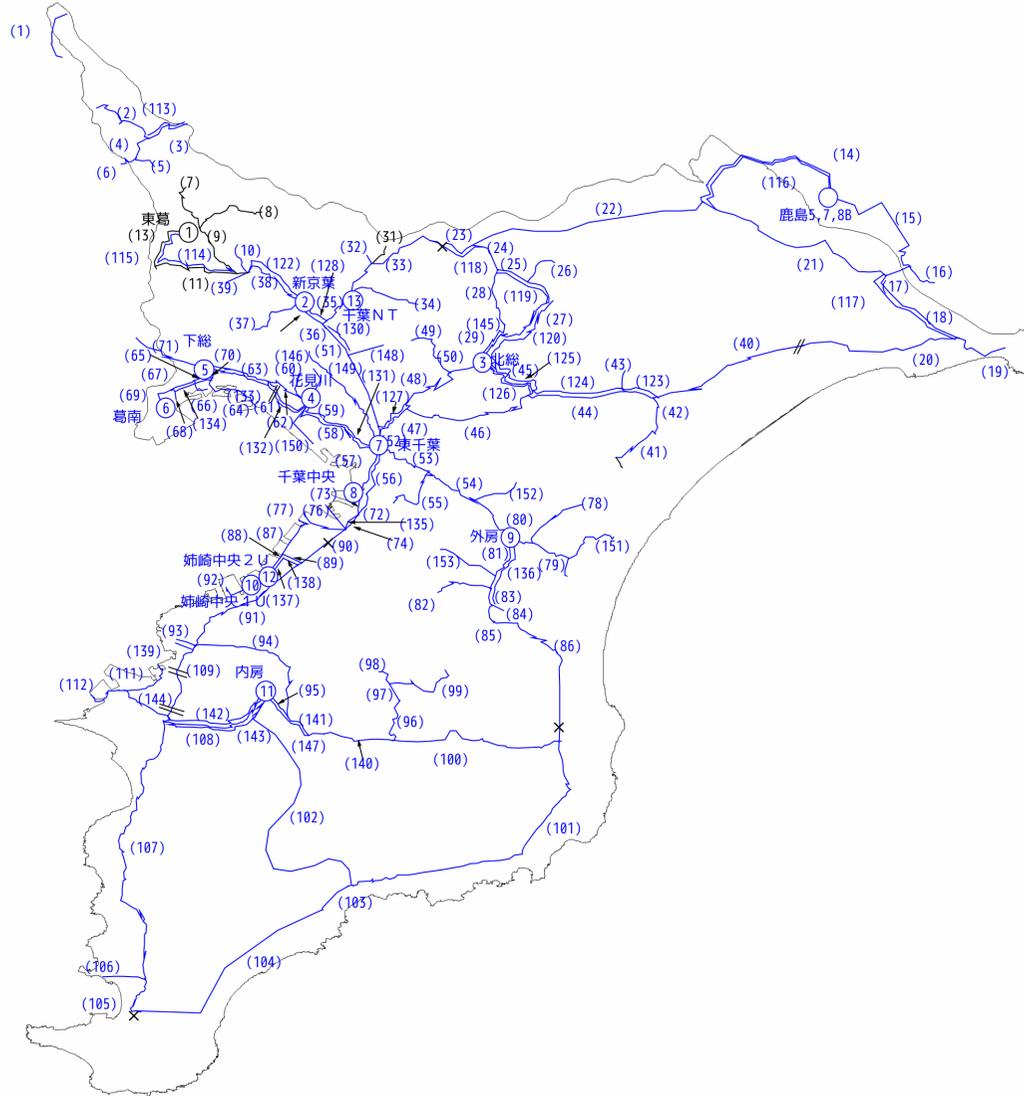
運用容量一覧表～154kVの特高設備～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%× 回線数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考		
							当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備			
千葉県	154kV	1	東葛線1・2L	154	2	514	290	熱容量	257	0	可	224	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46 含む 上位系(送47)による制約
千葉県	154kV	2	下葛線	154	2	176	176	熱容量	176	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46 含む 上位系(送47)による制約
千葉県	154kV	3	下総線	154	2	260	260	熱容量	260	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46 含む 上位系(送47)による制約
千葉県	154kV	4	北船橋線	154	2	492	492	熱容量	492	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46 含む 上位系(送47)による制約
千葉県	154kV	5	下総線	154	2	260	260	熱容量	260	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46 含む 上位系(送47)による制約
千葉県	154kV	6	北船橋線	154	2	234	234	熱容量	234	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46 含む 上位系(送47)による制約
千葉県	154kV	7	矢切線	154	2	1506	870	熱容量	753	0	可	636	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46 含む 上位系(送47)による制約
千葉県	154kV	8	坪井線	154	2	986	565	熱容量	493	0	可	421	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46 含む 上位系(送47)による制約
千葉県	154kV	9	東千葉房総線	154	2	1052	577	熱容量	0	0	可	318	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(変千葉154kV3)による制約
千葉県	154kV	10	生実線	154	2	493	493	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(変千葉154kV3)による制約
千葉県	154kV	11	東千葉外房線	154	2	986	565	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	154kV	12	市原五井線	154	2	294	195	熱容量	147	0	可	99	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(変千葉154kV3)による制約
千葉県	154kV	13	送電線	154	2	-	-	-	52	0	-	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(変千葉154kV8)による制約
千葉県	154kV	14	東葛線3・4L	154	2	514	290	熱容量	257	0	可	224	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46 含む 上位系(送47)による制約
千葉県	154kV	15	木下線	154	2	986	565	熱容量	492	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46 含む 上位系(送47)による制約

千葉県

運用容量一覧表～154kVの特高設備～

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考		
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備			
千葉県	154kV	1	新野田12-14B	275	154	3	685	524	熱容量	592	0	可	161	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送47)による制約
千葉県	154kV	2	新京葉	275	154	3	991	680	熱容量	684	0	可	311	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送47)による制約
千葉県	154kV	3	房総	275	154	4	970	743	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送47, 変12	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変12)による制約
千葉県	154kV	4	東葛	154	66	4	659	564	熱容量	570	0	可	95	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送47)による制約
千葉県	154kV	5	下総	154	66	4	752	677	熱容量	684	0	可	75	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送47)による制約
千葉県	154kV	6	東千葉	154	66	4	754	678	熱容量	443	0	可	76	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	154kV	7	外房	154	66	3	563	449	熱容量	0	0	可	102	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉154kV11)による制約
千葉県	154kV	8	新木更津	275	154	2	854	513	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送47, 変11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変11)による制約
千葉県	154kV	9	新野田15-17B	275	154	3	846	675	熱容量	563	0	可	171	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送47)による制約
千葉県	154kV	10	千葉NT	154	66	3	570	513	熱容量	570	0	可	57	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送47)による制約



千葉県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%× 回線数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考		
							当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備			
千葉県	66kV	1	山西線	66	2	294	167	熱容量	80	0	可	127	有り	-	送52	上位系(送52)による制約
千葉県	66kV	2	出口線	66	2	196	107	熱容量	88	0	可	89	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
千葉県	66kV	3	水海道線	66	2	444	254	熱容量	218	0	可	190	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
千葉県	66kV	4	水海道線	66	2	184	104	熱容量	88	0	可	80	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
千葉県	66kV	5	送電線	66	2	-	-	-	47	0	-	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
千葉県	66kV	6	水海道線	66	2	184	104	熱容量	90	0	可	80	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
千葉県	66kV	7	流山線	66	2	294	167	熱容量	147	147	可	127	-	-	-	抑制が必要となる設備には送46 含む
千葉県	66kV	8	我孫子線	66	2	147	147	熱容量	147	147	可	0	-	-	-	抑制が必要となる設備には送46 含む
千葉県	66kV	9	田中線	66	2	131	131	熱容量	131	131	可	0	-	-	-	抑制が必要となる設備には送46 含む
千葉県	66kV	10	増尾線	66	2	372	212	熱容量	183	0	可	160	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46 含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	11	東葛高柳線1,2L	66	2	444	254	熱容量	222	222	可	190	-	-	-	抑制が必要となる設備には送46 含む
千葉県	66kV	13	東葛高柳線1,2L	66	2	444	254	熱容量	222	222	可	190	-	-	-	抑制が必要となる設備には送46 含む
千葉県	66kV	14	湖南線12L	66	2	184	104	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送46, 送39	抑制が必要となる設備には送47 含む 上位系(送39)による制約
千葉県	66kV	15	土合線	66	2	236	160	熱容量	33	0	可	54	有り	-	送46, 送39	抑制が必要となる設備には送47 含む 上位系(送39)による制約
千葉県	66kV	16	南波崎線	66	2	236	160	熱容量	88	0	可	76	有り	-	送46, 送39	抑制が必要となる設備には送47 含む 上位系(送39)による制約
千葉県	66kV	17	松岸線	66	2	380	217	熱容量	133	0	可	163	有り	-	送46, 送39	抑制が必要となる設備には送47 含む 上位系(送39)による制約
千葉県	66kV	18	松岸線	66	2	230	130	熱容量	58	0	可	90	有り	-	送46, 送39	抑制が必要となる設備には送47 含む 上位系(送39)による制約
千葉県	66kV	19	犬吠線	66	2	236	160	熱容量	102	0	可	76	有り	-	送46, 送39	抑制が必要となる設備には送47 含む 上位系(送39)による制約
千葉県	66kV	20	網戸線	66	2	102	57	熱容量	0	0	可	5	有り	-	送46, 送39	抑制が必要となる設備には送47 含む 上位系(送39)による制約
千葉県	66kV	21	銚子線	66	2	220	131	熱容量	0	0	可	73	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14	抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送千葉66kV14)による制約
千葉県	66kV	22	佐原線	66	2	132	74	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送46, 送39, 送千葉66kV14	抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送千葉66kV14)による制約
千葉県	66kV	23	安食線	66	2	-	-	-	182	0	-	-	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46 含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	24	安食線	66	2	197	197	熱容量	197	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46 含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	25	安食線	66	2	444	254	熱容量	222	0	可	190	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46 含む 上位系(送47)による制約

千葉県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100% × 回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性のある設備		備考		
							当該設備	上位系等考慮	適用可否	適用可能量 (MW)		当該設備	上位系設備			
千葉県	66kV	26	送電線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送36)による制約
千葉県	66kV	27	七栄線3・4L	66	2	444	254	熱容量	207	0	可	190	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送36)による制約
千葉県	66kV	28	寺台線	66	2	444	254	熱容量	209	0	可	190	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送36)による制約
千葉県	66kV	29	七栄線3・4L	66	2	444	254	熱容量	194	0	可	190	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送36)による制約
千葉県	66kV	31	送電線	66	2			熱容量			可		-	-	-	抑制が必要となる設備には送46含む
千葉県	66kV	32	印西線	66	2	372	212	熱容量	160	0	可	160	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	33	印西線	66	2	222	222	熱容量	199	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	34	印旛西線	66	2	222	222	熱容量	176	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	35	印西線	66	2	444	254	熱容量	177	0	可	190	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	36	印西線	66	2	444	254	熱容量	178	0	可	190	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	37	二和線	66	2	208	118	熱容量	104	0	可	90	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	38	高柳沼南線1,2L	66	2	444	254	熱容量	222	0	可	190	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	39	金ヶ作線	66	2	294	167	熱容量	147	0	可	127	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	40	網戸線	66	2	52	52	熱容量	52	0	可	0	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送36)による制約
千葉県	66kV	41	送電線	66	2	102	57	熱容量	51	0	可	45	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送36)による制約
千葉県	66kV	42	松尾線	66	2	132	74	熱容量	5	0	可	58	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送36)による制約
千葉県	66kV	43	芝山線	66	2	444	254	熱容量	181	0	可	190	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送36)による制約
千葉県	66kV	44	八日市場線	66	2	444	254	熱容量	136	0	可	190	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送36)による制約
千葉県	66kV	45	八街線	66	2	294	167	熱容量	147	0	可	127	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送千葉66kV46)による制約
千葉県	66kV	46	八街線	66	2	132	74	熱容量	0	0	可	54	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	66kV	47	八街線	66	2	294	167	熱容量	34	0	可	127	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	66kV	48	佐倉線	66	2	444	254	熱容量	221	0	可	190	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送36)による制約
千葉県	66kV	49	角来線	66	2	184	103	熱容量	90	0	可	81	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送36)による制約
千葉県	66kV	50	佐倉線	66	2	184	104	熱容量	62	0	可	80	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送36)による制約

千葉県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100% × 回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性のある設備		備考		
							当該設備	上位系等考慮	適用可否	適用可能量 (MW)		当該設備	上位系設備			
千葉県	66kV	51	千葉新線	66	2	197	197	熱容量	197	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	52	八街線	66	2	444	254	熱容量	109	0	可	190	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	66kV	53	千葉大網線(東千葉外房線34L)	66	2	444	254	熱容量	134	0	可	145	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	66kV	54	千葉大網線(東千葉外房線34L)	66	2	444	254	熱容量	160	0	可	30	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	66kV	55	鎌取線	66	2	132	74	熱容量	48	0	可	58	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	66kV	56	村田川線	66	2	184	104	熱容量	92	0	可	80	有り	-	送47, 送36, 送33	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送千葉66kV72)による制約
千葉県	66kV	57	生浜線	66	2	186	186	熱容量	186	0	可	0	有り	-	送47, 送36, 送33	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送33)による制約
千葉県	66kV	58	検見川線	66	2	294	167	熱容量	147	0	可	127	有り	-	送47, 送143	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送143)による制約
千葉県	66kV	59	吉橋線	66	2	66	66	熱容量	66	0	可	0	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	66kV	60	習志野線	66	2	91	91	熱容量	91	0	可	0	有り	-	送47, 送143	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送143)による制約
千葉県	66kV	61	船橋線	66	2	94	94	熱容量	94	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	62	藤崎線	66	2	168	94	熱容量	84	0	可	74	有り	-	送47, 送143	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送143)による制約
千葉県	66kV	63	船橋線	66	2	83	83	熱容量	83	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	64	京葉港線	66	2	208	118	熱容量	104	0	可	90	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	65	市川千鳥線	66	2	118	118	熱容量	118	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	66	送電線	66	2	106	69	熱容量	53	0	可	37	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	67	市川千鳥線	66	2	118	118	熱容量	114	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	68	市川千鳥線	66	2	75	75	熱容量	75	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	69	市船線	66	2	206	116	熱容量	103	0	可	90	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	70	市川千鳥線	66	2	118	118	熱容量	118	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	71	花総線	66	2	168	94	熱容量	84	0	可	74	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	72	村田川線	66	2	184	104	熱容量	0	0	可	20	有り	-	送47, 送36, 送33	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送33)による制約
千葉県	66kV	73	蘇我線	66	2	184	104	熱容量	0	0	可	33	有り	-	送47, 送36, 送33	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送33)による制約
千葉県	66kV	74	蘇我線	66	2	184	104	熱容量	0	0	可	30	有り	-	送47, 送36, 送33	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送千葉66kV73)による制約

千葉県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100% × 回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性のある設備		備考
							当該設備	上位系等考慮	適用可否	適用可能量 (MW)		当該設備	上位系設備	
千葉県 66kV 76	八幡環線	66	2	115	115	熱容量	19	0	可	0	有り	-	送47, 送36, 送33	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV74)による制約
千葉県 66kV 77	五井環線	66	2	91	91	熱容量	51	0	可	4	有り	-	送47, 送36, 送33	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV74)による制約
千葉県 66kV 78	東金線	66	2	372	212	熱容量	93	0	可	143	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV9)による制約
千葉県 66kV 79	北白子線	66	2	132	74	熱容量	9	0	可	0	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV9)による制約
千葉県 66kV 80	東金線	66	2	444	254	熱容量	134	0	可	161	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV9)による制約
千葉県 66kV 81	茂原線	66	2	444	254	熱容量	0	0	可	130	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV9)による制約
千葉県 66kV 82	長柄線	66	2	132	74	熱容量	32	0	可	58	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV81)による制約
千葉県 66kV 83	茂原線	66	2	294	167	熱容量	10	0	可	127	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV81)による制約
千葉県 66kV 84	高師線	66	2	100	66	熱容量	31	0	可	34	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV9)による制約
千葉県 66kV 85	茂原線	66	2	294	167	熱容量	10	0	可	127	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV81)による制約
千葉県 66kV 86	岬町線	66	2	59	59	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV81)による制約
千葉県 66kV 87	青柳環線	66	2	236	133	熱容量	26	0	可	21	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV12	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV12)による制約
千葉県 66kV 88	木更津線	66	2	184	104	熱容量	0	0	可	30	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV12	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV12)による制約
千葉県 66kV 89	姉原線	66	2	184	104	熱容量	51	0	可	80	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV10	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV10)による制約
千葉県 66kV 90	姉原線	66	2	184	104	熱容量	55	0	可	80	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV10	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV10)による制約
千葉県 66kV 91	木更津線	66	2	184	104	熱容量	0	0	可	79	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV12	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV138)による制約
千葉県 66kV 92	蔵波線	66	2	236	160	熱容量	0	0	可	5	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV10	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV10)による制約
千葉県 66kV 93	木内線	66	2	132	74	熱容量	52	0	可	58	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県 66kV 94	横田線	66	2	294	167	熱容量	49	0	可	21	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県 66kV 95	横田線	66	2	221	221	熱容量	74	0	可	0	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県 66kV 96	高滝線	66	2	294	167	熱容量	90	0	可	117	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV147, 送千葉66kV140	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV140)による制約
千葉県 66kV 97	高滝線	66	2	-	-	-	100	0	-	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV147, 送千葉66kV140	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV140)による制約
千葉県 66kV 98	高滝線	66	2	102	57	熱容量	22	0	可	45	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV147, 送千葉66kV140	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV140)による制約
千葉県 66kV 99	長南線	66	2	58	58	熱容量	39	0	可	0	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV147, 送千葉66kV140	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV140)による制約

千葉県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100% × 回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性がある設備		備考
							当該設備	上位系等考慮	適用可否	適用可能量 (MW)		当該設備	上位系設備	
千葉県 66kV 100	夷隅線	66	2	92	92	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV147, 送千葉66kV140	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV140)による制約
千葉県 66kV 101	外房線	66	2	380	217	熱容量	65	0	可	121	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県 66kV 102	上総線	66	2	186	186	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県 66kV 103	上総線	66	2	380	217	熱容量	131	0	可	163	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県 66kV 104	南房線	66	2	198	107	熱容量	92	0	可	91	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県 66kV 105	内房線	66	2	138	92	熱容量	59	0	可	46	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV107)による制約
千葉県 66kV 106	富浦線	66	2	106	69	熱容量	49	0	可	37	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV107)による制約
千葉県 66kV 107	内房線	66	2	132	74	熱容量	0	0	可	14	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県 66kV 108	内房線	66	2	230	130	熱容量	33	0	可	68	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県 66kV 109	木内線	66	2	197	197	熱容量	183	0	可	0	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県 66kV 111	潮見線	66	2	138	92	熱容量	58	0	可	19	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県 66kV 112	送電線	66	2	-	-	-	105	0	-	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	◇ 抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県 66kV 113	出口線	66	2	372	212	熱容量	168	0	可	160	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
千葉県 66kV 114	東葛高柳線3・4L	66	2	444	254	熱容量	222	0	可	190	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送47)による制約
千葉県 66kV 115	東葛高柳線3,4L	66	2	372	203	熱容量	186	0	可	169	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送47)による制約
千葉県 66kV 116	湖南線3,4L	66	2	184	104	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送46, 送39	抑制が必要となる設備には送47含む上位系(送39)による制約
千葉県 66kV 117	銚子線	66	2	115	115	熱容量	101	0	可	0	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14	抑制が必要となる設備には送47含む上位系(送千葉66kV21)による制約
千葉県 66kV 118	佐原線	66	2	66	66	熱容量	66	0	可	0	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14, 送千葉66kV22	抑制が必要となる設備には送47含む上位系(送千葉66kV22)による制約
千葉県 66kV 119	寺台線	66	2	444	254	熱容量	209	0	可	190	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送36)による制約
千葉県 66kV 120	七栄線1・2L	66	2	400	230	熱容量	184	0	可	170	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送36)による制約
千葉県 66kV 122	高柳沼南線3,4L	66	2	444	254	熱容量	188	0	可	190	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送47)による制約
千葉県 66kV 123	松尾線	66	2	130	130	熱容量	10	0	可	0	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送36)による制約
千葉県 66kV 124	松尾線	66	2	130	130	熱容量	69	0	可	0	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送36)による制約
千葉県 66kV 125	松尾線	66	2	444	254	熱容量	161	0	可	179	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送36)による制約

資料作成日 2025年7月 3日

転載禁止 東京電力パワーグリッド株式会社

千葉県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100% × 回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性のある設備		備考
							当該設備	上位系等考慮	適用可否	適用可能量 (MW)		当該設備	上位系設備	
千葉県 66kV 126	八日市場線	66	2	444	254	熱容量	95	0	可	190	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送36)による制約
千葉県 66kV 127	佐倉線	66	2	189	189	熱容量	188	0	可	0	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送36)による制約
千葉県 66kV 128	千葉新線	66	2	444	254	熱容量	220	0	可	190	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送47)による制約
千葉県 66kV 130	八千代台線	66	2	394	221	熱容量	197	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送47)による制約
千葉県 66kV 131	千葉線	66	2	292	167	熱容量	142	0	可	125	有り	-	送47, 送143	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送143)による制約
千葉県 66kV 132	幕張線	66	2	230	156	熱容量	115	0	可	74	有り	-	送47, 送143	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送143)による制約
千葉県 66kV 133	藤崎線	66	2	166	93	熱容量	83	0	可	73	有り	-	送47, 送143	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送143)による制約
千葉県 66kV 134	市船線	66	2	-	-	-	108	0	-	-	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送47)による制約
千葉県 66kV 135	村田川線	66	2	372	212	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送47, 送36, 送33	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV72)による制約
千葉県 66kV 136	高師線	66	2	294	167	熱容量	128	0	可	127	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV9)による制約
千葉県 66kV 137	姉原線	66	2	190	127	熱容量	58	0	可	63	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV10	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV10)による制約
千葉県 66kV 138	木更津線	66	2	184	104	熱容量	0	0	可	74	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV12	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV88)による制約
千葉県 66kV 139	木更津線	66	2	184	104	熱容量	64	0	可	80	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV12	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV91)による制約
千葉県 66kV 140	夷隅線	66	2	184	104	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV147	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV147)による制約
千葉県 66kV 141	久留里線	66	2	-	-	-	145	0	-	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県 66kV 142	木内線	66	2	372	212	熱容量	99	0	可	160	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県 66kV 143	送電線	66	2	-	-	-	105	0	-	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	◇ 抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県 66kV 144	潮見線	66	2	380	217	熱容量	171	0	可	163	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県 66kV 145	西成田線	66	2	444	254	熱容量	211	0	可	190	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送36)による制約
千葉県 66kV 146	長作線	66	2	236	160	熱容量	118	0	可	76	有り	-	送47, 送143	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送143)による制約
千葉県 66kV 147	夷隅線	66	2	92	92	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県 66kV 148	阿蘇線	66	2	53	53	熱容量	53	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送47)による制約
千葉県 66kV 149	千葉新線	66	2	52	52	熱容量	52	0	可	0	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送47)による制約
千葉県 66kV 150	黒砂線	66	2	40	40	熱容量	40	0	可	0	有り	-	送47, 送143	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送143)による制約

千葉県

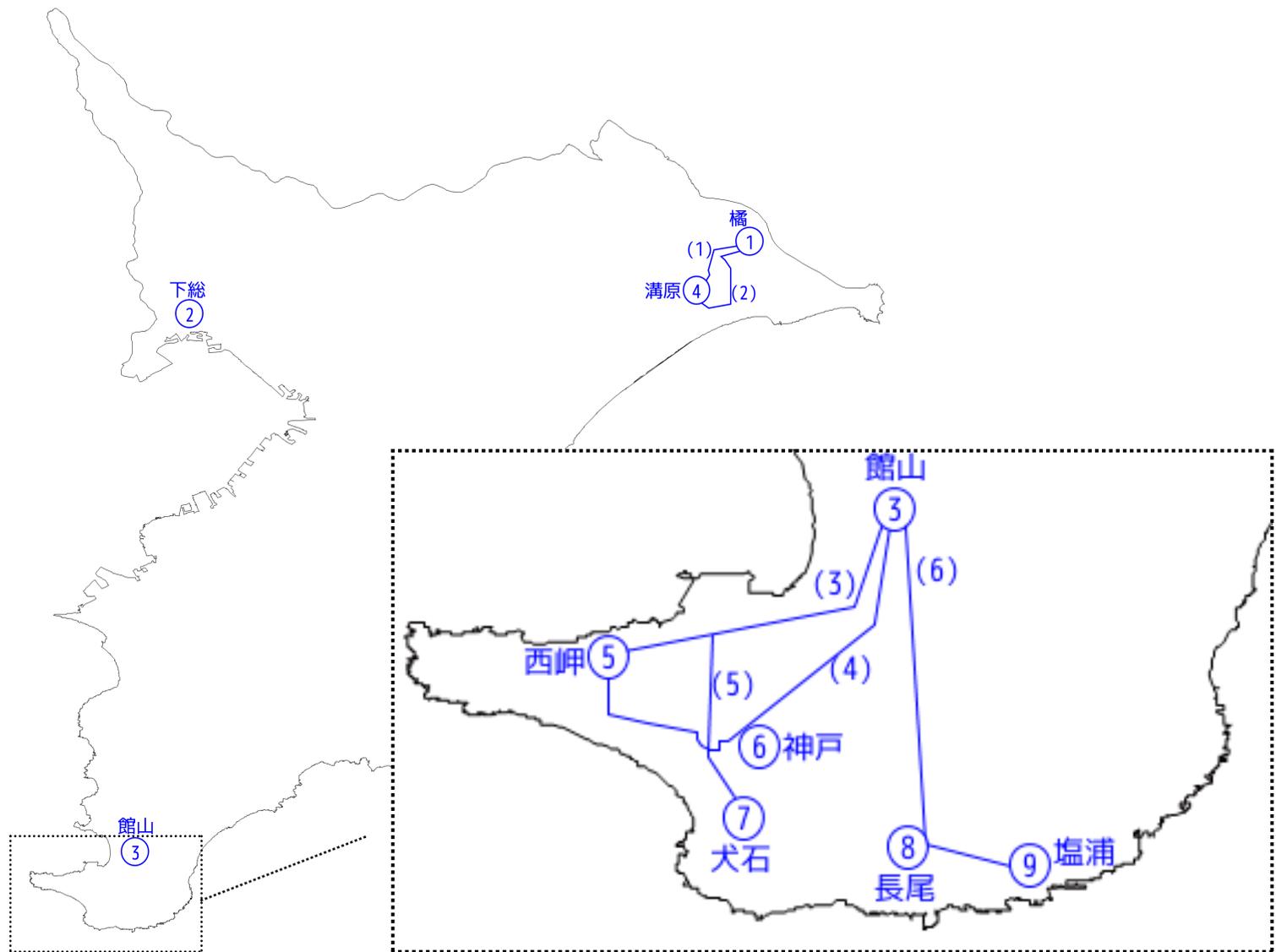
運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

送電線 No			送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100% × 回線数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考
									当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備	
千葉県	66kV	151	九十九里線	66	2	66	66	熱容量	36	0	可	0	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(変千葉66kV9)による制約
千葉県	66kV	152	滝台線	66	2	147	147	熱容量	82	0	可	0	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	66kV	153	大木戸線	66	2	147	147	熱容量	128	0	可	0	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	上位系(送千葉66kV81)による制 約

千葉県

運用容量一覧表～ 66kV の特高設備 ～

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考		
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備			
千葉県	66kV	1	東葛	154	66	4	659	564	熱容量	570	570	可	95	-	-	抑制が必要となる設備には送46含む	
千葉県	66kV	2	新京葉	275	66	4	1124	1010	熱容量	268	0	可	114	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	3	北総	275	66	3	847	677	熱容量	532	0	可	170	有り	-	送47, 送36	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送36)による制約
千葉県	66kV	4	花見川	275	66	4	932	786	熱容量	228	0	可	146	有り	-	送47, 送143	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送143)による制約
千葉県	66kV	5	下総	154	66	4	753	677	熱容量	684	0	可	76	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	6	葛南	275	66	2	569	342	熱容量	342	0	可	227	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	66kV	7	東千葉	154	66	4	754	678	熱容量	443	0	可	76	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	66kV	8	千葉中央	275	66	2	567	342	熱容量	71	0	可	225	有り	-	送47, 送36, 送33	上位系(送33)による制約
千葉県	66kV	9	外房	154	66	3	563	449	熱容量	0	0	可	102	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(変千葉154kV7)による制約
千葉県	66kV	10	姉崎中央1U	275	66	2	432	228	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送47, 変12	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(変12)による制約
千葉県	66kV	11	内房	154	66	4	632	548	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送47, 変11, 変千葉154kV8	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(変千葉154kV8)による制約
千葉県	66kV	12	姉崎中央2U	275	66	2	330	171	熱容量	0	0	可	0	有り	対象	送47, 変12	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(変12)による制約
千葉県	66kV	13	千葉NT	154	66	3	570	513	熱容量	570	0	可	57	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約



千葉県

運用容量一覧表～ 22kV の特高設備 ～

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100% × 回線数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考		
							当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備			
千葉県	22kV	1	送電線	22	1	10	10	熱容量	6	0	不可 #2	-	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14	抑制が必要となる設備には送47含む上位系(送千葉66kV21)による制約
千葉県	22kV	2	送電線	22	1	10	10	熱容量	0	0	不可 #2	-	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14	抑制が必要となる設備には送47含む上位系(送千葉66kV21)による制約
千葉県	22kV	3	西岬特配線	22	1	10	10	熱容量	4	0	不可 #2	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	22kV	4	神戸特配線	22	1	10	10	熱容量	6	0	不可 #2	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	22kV	5	西岬特配線	22	1	10	10	熱容量	0	0	不可 #2	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	22kV	6	塩浦特配線	22	1	10	10	熱容量	3	0	不可 #2	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	抑制が必要となる設備には送46含む上位系(送千葉66kV102)による制約

千葉県

運用容量一覧表～ 22kV の特高設備 ～

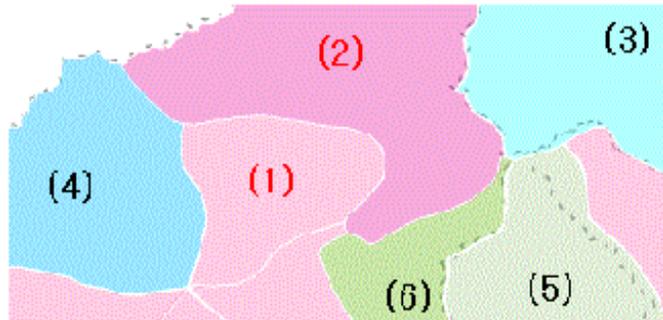
変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考		
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備			
千葉県	22kV	1	橋	66	22	1	28	28	熱容量	19	0	不可 #2	-	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14	抑制が必要となる設備には送47含む 上位系(送千葉66kV21)による制約
千葉県	22kV	2	下総	66	22	1	28	28	熱容量	0	0	不可 #2	-	有り	-	送47	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送47)による制約
千葉県	22kV	3	館山	66	22	2	38	19	熱容量	16	0	不可 #2	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	抑制が必要となる設備には送46含む 上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	22kV	4	溝原	22	-	1	-	-	-	0	0	-	-	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14	6kV供給変圧器のため対象外 上位系(送千葉66kV21)による制約
千葉県	22kV	5	西岬	22	-	1	-	-	-	9	0	-	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	6kV供給変圧器のため対象外 上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	22kV	6	神戸	22	-	1	-	-	-	9	0	-	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	6kV供給変圧器のため対象外 上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	22kV	7	犬石	22	-	1	-	-	-	0	0	-	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	6kV供給変圧器のため対象外 上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	22kV	8	長尾	22	-	1	-	-	-	9	0	-	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	6kV供給変圧器のため対象外 上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	22kV	9	塩浦	22	-	1	-	-	-	8	0	-	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	6kV供給変圧器のため対象外 上位系(送千葉66kV102)による制約

配電用変電所エリア空容量マッピングの記載方法について

○既にお申込み頂いている発電設備の連系状況を踏まえ、以下の凡例で配電用変電所の空容量、上位特別高圧系統の平常時出力制御の可能性を示しております。
 ※空容量の数値[MW]については、別紙「空容量一覧表」を参照願います。

凡例	内容	連系までの見通し
	現在配電用変電所の空き容量が不足し、配電用変電所及びバンクの増強等について連系のための対策が必要となる可能性が高いエリア。 または、上位特別高圧系統で連系に必要な対策が必要となる可能性が高いエリア。	上位系及び配電用変電所の増強等が必要となる場合、早期連系は困難。※
	現在配電用変電所の空き容量が不足し、配電用変電所及びバンクの増強、逆潮流対策等について連系のための対策が必要となる可能性が高いエリア。 または、上位特別高圧系統で連系に必要な対策が必要となる可能性が高いエリア。	上位系及び配電用変電所の増強、逆潮流対策等が必要となる場合、早期連系は困難。※
	上位特別高圧系統の平常時出力制御が発生する可能性が高いエリア (現在配電用変電所は空きあり)。	上位系の対策なしで連系可能な見込み。
	上位特別高圧系統の平常時出力制御が発生する可能性が高く、配電用変電所及びバンクの逆潮流対策等について連系のための対策が必要となる可能性が高いエリア(現在配電用変電所は空きあり)。	逆潮流等の対策後連系可能。
	上位特別高圧系統の平常時出力制御が発生する可能性が低いエリア (現在配電用変電所は空きあり)。	上位系の対策なしで連系可能な見込み。
	上位特別高圧系統の平常時出力制御が発生する可能性は低いが、配電用変電所及びバンクの逆潮流対策等について連系のための対策が必要となる可能性が高いエリア(現在配電用変電所は空きあり)。	逆潮流等の対策後連系可能。

※平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kW未満の電源を除く。)



(1), (2), (3), (4), (5), (6) : 配電用変電所のエリア番号

○本資料は高圧(2,000kW未満)にて連系予定の発電設備を対象としております。
 上記に関わらず50kW未満の太陽光発電設備等は「空容量マッピング」対象外です。

資料作成日 2025年7月3日
 転載禁止 東京電力パワーグリッド株式会社

配電用変電所エリア運用容量一覧表の留意事項について

- (1) 空容量と平常時出力制御の可能性は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量と平常時出力制御の可能性が変更となる場合があります。
- (2) 原則として熱容量に基づく空容量と平常時出力制御の可能性を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (3) 配電用変電所のため、N-1電制は適用不可となります。
- (4) 平常時出力制御の可能性がある設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
* https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryuu.html
- (5) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (6) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (7) 平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kW未満の電源を除く。)
- (8) 予想潮流については「需要・送配電に関する情報」をご覧ください。なお、2023年度末から順次公開範囲を拡大する予定です。

千葉県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考	
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備		
千葉県	1	関宿	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送52	上位系(送52)による制約
千葉県	2	川間	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	12	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
千葉県	3	出口	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	18	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
千葉県	4	旭村	66	6.6以下	2	28	29	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
千葉県	5	野田	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	18	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
千葉県	6	三ヶ尾	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
千葉県	7	運河	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	13	0	不可	-	有り	-	送52, 送50, 送45	上位系(送45)による制約
千葉県	8	江戸川台	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	15	15	不可	-	-	-	-	
千葉県	9	根戸	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	14	14	不可	-	-	-	-	
千葉県	10	柏高田	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	19	不可	-	-	-	-	
千葉県	11	流山	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	17	17	不可	-	-	-	-	
千葉県	12	平和台	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	19	不可	-	-	-	-	
千葉県	13	我孫子	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	9	9	不可	-	-	-	-	
千葉県	14	柏東口	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	15	柏	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	19	不可	-	-	-	-	
千葉県	16	大谷口	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	17	天王台	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	17	17	不可	-	-	-	-	
千葉県	18	増尾	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	17	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	19	酒井根	154	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	20	小金	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	21	六和	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	14	14	不可	-	-	-	-	
千葉県	22	印西	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	23	富塚	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	16	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	24	白井	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	25	金ヶ作	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約

千葉県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考	
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備		
千葉県	26	八柱	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	27	松戸	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	28	西松戸	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	19	不可	-	-	-	-	
千葉県	29	佐原	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14	上位系(送千葉66kV14)による制約
千葉県	30	小御門	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14, 送千葉66kV22	上位系(送千葉66kV22)による制約
千葉県	31	北辺田	66	6.6以下	1	19	19	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14, 送千葉66kV22	上位系(送千葉66kV22)による制約
千葉県	32	安食	66	6.6以下	3	38	39	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	33	印旛西	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	34	船尾	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	11	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	35	南山	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	36	鎌ヶ谷	154	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	37	松飛台	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	38	柏井	154	6.6以下	3	47	49	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	39	東松戸	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	40	矢切	66	6.6以下	2	33	34	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	41	小見川	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14	上位系(送千葉66kV21)による制約
千葉県	42	大栄	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14, 送千葉66kV22	上位系(送千葉66kV22)による制約
千葉県	43	寺台	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	8	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	44	西成田	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	10	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	45	笹川	66	6.6以下	2	19	19	熱容量	3	0	不可	-	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14	上位系(送千葉66kV21)による制約
千葉県	46	橋	66	6.6以下	2	19	19	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14	上位系(送千葉66kV21)による制約
千葉県	47	溝原配電塔	66	6.6以下	1	9	9	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14	上位系(送千葉66kV21)による制約
千葉県	48	明神	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送46, 送39	上位系(送39)による制約
千葉県	49	犬吠	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送46, 送39	上位系(送39)による制約
千葉県	50	銚子	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	5	0	不可	-	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14	上位系(送千葉66kV21)による制約

千葉県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備	
千葉県	51 網戸	66	6.6以下	3	42	44	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送46, 送39	上位系(送千葉66kV20)による制約
千葉県	52 干潟	66	6.6以下	3	42	44	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	53 八日市場	66	6.6以下	3	42	44	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	54 芝山	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	4	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	55 成田	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	56 富里	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	57 公津東	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	58 佐倉	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	59 うすい	66	6.6以下	1	19	19	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	60 志津	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	61 麦丸	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	16	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	62 北三咲	66	6.6以下	3	33	34	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	63 吉橋	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	64 坪井	154	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	65 二和東	154	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	66 塚田	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	67 葛飾	66	6.6以下	2	19	19	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	68 下貝塚	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	69 菅野	66	6.6以下	3	42	44	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	70 市川第二	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	71 野栄	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	72 松尾	66	6.6以下	3	42	44	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	73 八街	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	上位系(送千葉66kV46)による制約
千葉県	74 岩富	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	上位系(送千葉66kV46)による制約
千葉県	75 根郷	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	18	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約

千葉県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考	
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備		
千葉県	76	四街道	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	11	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	上位系(送千葉66kV46)による制約
千葉県	77	上高野	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	78	八千代台	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	79	鷹の台	154	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	80	長沼	154	6.6以下	3	52	54	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	81	鹿渡	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	82	長作	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	83	習志野	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	84	本大久保	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	85	津田沼	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	86	船橋	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	87	本町	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	88	若松台	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	18	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	89	園生	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	90	検見川	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	91	幕張本郷	66	6.6以下	1	19	19	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	92	鷺沼	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	93	茜浜	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	94	湊町	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	95	海神	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	96	原木	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	97	本中山	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	98	八幡	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	99	大洲	66	6.6以下	1	19	19	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	100	塩焼	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約

千葉県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考	
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備		
千葉県	101	行徳	66	6.6以下	3	76	79	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	102	浦安	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	103	北栄	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	104	美浜	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	105	舞浜	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47	上位系(送47)による制約
千葉県	106	作草部	66	6.6以下	3	42	44	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	107	南園生	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	108	西千葉	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	109	幕張	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	110	海浜	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	111	黒砂	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	112	出洲	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47, 送143	上位系(送143)による制約
千葉県	113	千葉	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	18	0	不可	-	有り	-	送47, 送36, 送33	上位系(送33)による制約
千葉県	114	富士見町	66	6.6以下	3	42	44	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47, 送36, 送33	上位系(送33)による制約
千葉県	115	吾妻町	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 送36, 送33	上位系(送33)による制約
千葉県	116	登戸町	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	117	神明町	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	118	滝台	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	119	坂月	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	120	宮崎	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	送47, 送36, 送33	上位系(送千葉66kV72)による制約
千葉県	121	鎌取	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	4	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	122	蘇我	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	送47, 送36, 送33	上位系(送千葉66kV73)による制約
千葉県	123	市原	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 送36, 送33, 送千葉66kV135	上位系(送千葉66kV135)による制約
千葉県	124	成東	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約
千葉県	125	作田川	66	6.6以下	1	19	19	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	送47, 送36	上位系(送36)による制約

千葉県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備	
		千葉県	126 東金					66	6.6以下	3	57		59	熱容量	
千葉県	127 土気	66	6.6以下	2	19	19	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3	上位系(送千葉154kV9)による制約
千葉県	128 九十九里	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	8	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	上位系(変千葉66kV9)による制約
千葉県	129 大網	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	4	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	上位系(変千葉66kV9)による制約
千葉県	130 大木戸	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	8	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	上位系(送千葉66kV81)による制約
千葉県	131 潤井戸	154	6.6以下	3	57	59	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV10	上位系(送千葉154kV10)による制約
千葉県	132 五井	66	6.6以下	2	28	29	熱容量	14	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV10	上位系(変千葉66kV10)による制約
千葉県	133 権現堂	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV10	上位系(変千葉66kV10)による制約
千葉県	134 千種	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV10	上位系(変千葉66kV10)による制約
千葉県	135 北白子	66	6.6以下	3	28	29	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	上位系(変千葉66kV9)による制約
千葉県	136 高師	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	上位系(変千葉66kV9)による制約
千葉県	137 長柄	66	6.6以下	2	28	29	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	上位系(送千葉66kV81)による制約
千葉県	138 茂原	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11	上位系(送千葉66kV81)による制約
千葉県	139 椎津	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV12	上位系(送千葉66kV91)による制約
千葉県	140 長浦	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV10	上位系(送千葉66kV92)による制約
千葉県	141 一宮	66	6.6以下	2	33	34	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉154kV3, 送千葉154kV11, 送千葉66kV86	上位系(送千葉66kV86)による制約
千葉県	142 長南	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV147, 送千葉66kV140	上位系(送千葉66kV140)による制約
千葉県	143 高滝	66	6.6以下	2	19	19	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV147, 送千葉66kV140	上位系(送千葉66kV140)による制約
千葉県	144 横田	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県	145 木更津	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	11	0	不可	-	有り	-	送47, 変12, 変千葉66kV12	上位系(送千葉66kV91)による制約
千葉県	146 桜井	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県	147 潮見	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	19	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県	148 岬町	66	6.6以下	2	38	39	熱容量	5	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	149 大多喜	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	2	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV147, 送千葉66kV140, 送千葉66kV100	上位系(送千葉66kV100)による制約
千葉県	150 久留里	66	6.6以下	3	28	29	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	上位系(変千葉66kV11)による制約

千葉県

配電用変電所エリア運用容量一覧表

変電所 No	変電所名	電圧(kV)		台数	設備容量 (100%× 台数) (MW)	運用 容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制		平常時 出力制御 の 可能性	平常時出力制御の 可能性がある設備		備考	
		一次	二次					当該 設備	上位系等 考慮	適用 可否	適用 可能量 (MW)		当該 設備	上位系 設備		
千葉県	151	アカデミア	66	6.6以下	1	19	19	熱容量	5	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	上位系(送千葉66kV107)による制約
千葉県	152	八重原	66	6.6以下	3	57	59	熱容量	11	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県	153	青堀	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	3	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県	154	富津	66	6.6以下	1	19	19	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	上位系(変千葉66kV11)による制約
千葉県	155	佐貫	66	6.6以下	2	19	19	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	上位系(送千葉66kV107)による制約
千葉県	156	大原	66	6.6以下	1	19	19	熱容量	5	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	157	御宿	66	6.6以下	1	19	19	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	158	勝浦	66	6.6以下	2	28	29	熱容量	6	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	159	天津	66	6.6以下	2	19	19	熱容量	2	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	160	鴨川	66	6.6以下	3	47	49	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	161	天羽	66	6.6以下	2	28	29	熱容量	1	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	上位系(送千葉66kV107)による制約
千葉県	162	勝山	66	6.6以下	2	19	19	熱容量	4	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	上位系(送千葉66kV107)による制約
千葉県	163	千倉	66	6.6以下	2	23	24	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	164	富浦	66	6.6以下	2	19	19	熱容量	7	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11	上位系(送千葉66kV107)による制約
千葉県	165	館山	66	6.6以下	3	42	44	熱容量	9	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	166	館山主	66	6.6以下	2	38	22	熱容量	0	0	不可	-	有り	-	送47, 変11, 変千葉154kV8, 変千葉66kV11, 送千葉66kV102	上位系(送千葉66kV102)による制約
千葉県	167	潮来	66	6.6以下	3	52	54	熱容量	5	0	不可	-	有り	-	送46, 送39, 送千葉66kV14	上位系(送千葉66kV14)による制約